

Graduate School of Showa Medical University

Graduate School of Health Sciences

Entrance Examination Guidelines
2026・2027

2026 年度秋季 ・ 2027 年度春季

**昭和医科大学大学院
保健医療学研究科**

入学試験要項

昭和医科大学大学院の理念

昭和医科大学大学院は、医学研究科、歯学研究科、薬学研究科、保健医療学研究科を擁する医系総合大学院であり、先端的研究を進め、高度な医療を担う人材を育成し、生命科学の進歩と文化の発展に貢献するために設立された。

社会がめまぐるしく変化する中で、医療の高度化や価値観の多様化に伴い、人類の健康・福祉の維持向上のために、より深く包括的な生命真理の探究が求められている。

本大学院は医系総合大学院の特長を活かし、疾病の解明と克服を目的とした先端的かつ独創的な研究を推進し、知の創造に向けて邁進する。さらに、優れた研究・教育・指導能力、高度の専門性、倫理観、温かな人間性を身につけ、高い知性と豊かな感性をもって未知の分野に挑戦する医療人を育成する。このような研究や教育を通じて、国際的視野に立つ、社会に開かれた大学院として、人類の幸福に寄与することを使命とする。

昭和医科大学大学院アドミッションポリシー

昭和医科大学大学院は「至誠一貫」の精神をもとに、より高度な医療や研究に邁進し、人類の幸福に貢献する人材の育成をめざしています。

入学選抜にあたり、私共は次のような多様な学生・社会人を広く求めます。

1. 医療・健康・生命科学の専門知識を深く追究する意欲のある人
2. 常に探究心を持ち、先進的な医療を担う意欲のある人
3. 自らの活動領域を拡げ、医系総合科学を発展させる意欲のある人
4. さまざまな分野の専門家と共に、先端的・独創的な研究を志す人
5. 社会での実践から得た知識と経験を体系化し還元する意欲のある人
6. 国際的視野を持ち、国内外へ向けて広く成果を発信する意欲のある人
7. 真摯に学び、高い倫理性と豊かな人間性を持つ指導者を志す人

入学試験日程一覧

保健医療学研究科

入試区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
秋季 (2026年10月入学)	7月21日(火)～ 8月12日(水)17時	8月22日(土)	9月3日(木)15時	9月4日(金)～ 9月18日(金)17時
春季 (2027年4月入学)	10月5日(月)～ 10月28日(水)17時	11月7日(土)	11月27日(金)15時	11月28日(土)～ 12月11日(金)17時

個人情報の取り扱いについて

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は、入学試験に関する業務、統計資料の作成、その他本学の教育・研究、修学支援に必要な場合のみ利用します。

受験上の配慮について

疾病・負傷や身体障害の理由により、受験・修学に際して特別な配慮を希望する者は、出願期間の前までに、下記問合せ先まで必ずご相談ください。

配慮の内容に対して、可能な範囲に限り、当該者の受験上の配慮を行います。

受験上の合理的配慮の主な対応例については、別紙3（13ページ）をご覧ください。

入学試験問合せ先について

平日 8:30～17:00

（土・日・祝日、本学創立記念日11月15日、年末年始12月29日～翌年1月3日を除く）

○医学研究科・歯学研究科・薬学研究科

学事部大学院課（旗の台キャンパス）

〒142-8777 東京都品川区旗の台1-9-14

TEL：03-3784-8793 E-mail：daigakuin@ofc.showa-u.ac.jp

○保健医療学研究科

学事部長津田校舎事務課（横浜キャンパス）

〒226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町1865

TEL：045-985-6503 E-mail：nrkyoumu@ofc.showa-u.ac.jp

保健医療学研究科

Graduate School of Health Sciences

1 アドミッションポリシー

今日の保健医療分野では職種の専門化や細分化が進んでいるが、医療機関や地域の施設では障害を抱えた人々に対する多職種の多角的なアプローチ（チーム医療）が必要となってきた。保健医療学研究科では地域の保健、医療、福祉の分野でチーム医療を推進する意思を備えた人間を求めている。このため保健医療学研究科では、高い知性と感性をもち新たな分野に挑戦する教育者を養成するに寄与する。

1. 高い倫理観と使命感を備え、保健医療分野で活躍し、医療現場や地域社会に貢献する意思をもつ人
2. 日々進歩する医学および生命科学など医療や健康に関わる科学に対する探求心や創造力を発揮できる人
3. 高度な知識や技術を獲得するとともにそれらの応用発展を目指す人
4. 競争的環境の中で個性を重んずるとともに多職種間でのコミュニケーション能力を発揮できる人
5. 地域や医療の現場における問題を積極的に解決しようとする意思を持つ人

2 研究科目と募集人員

修業年限 ●博士前期課程 2年
●博士後期課程 3年

募集人員	志願区分		秋季	春季
	博士前期課程(社会人特別選抜、一般選抜)	論文コース	若干名	20名
専門コース		募集なし		
博士後期課程(社会人特別選抜、一般選抜)	論文コース	若干名	6名	

研究分野 ※指導教員及び主な研究内容は別添「指導教員及び研究内容一覧」参照

●保健医療学専攻 博士前期課程(論文コース)

分野	領域
医系基礎・専門・教育	形態解析学
	病態生理学
	統合医療学
	医療マネジメント学
	医療人教育学
	臨床栄養学

分野	領域
看護	臨床看護ケア開発学
	コミュニティケア開発学
	看護マネジメント学
リハビリテーション	生体機能学
	運動機能学
	中枢神経機能学
	精神機能学
	言語聴覚機能学
	視覚機能学
医療技術	臨床検査学
	診療放射線学
	臨床工学
	口腔保健学

●保健医療学専攻 博士前期課程(専門コース)

分野	領域
専門看護師(CNS)	老年看護学
	精神保健看護学
	がん看護学
遺伝カウンセリング	遺伝カウンセリング学
医学物理教育	医学物理学
アスレティックトレーニング	アスレティックトレーニング学

●保健医療学専攻 博士後期課程(論文コース)

分野
医系基礎・専門・教育
看護
リハビリテーション
医療技術

3 出願資格

次のいずれかに該当する者

- 博士前期課程(論文コース、専門コース(遺伝カウンセリング分野、医学物理教育分野、アスレティックトレーニング分野))

- (1) 4年制大学を卒業した者および卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者【要出願資格認定】
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者および修了見込みの者で、「高度専門士」の称号を付与された者および付与される見込みの者【要出願資格認定】
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達した者【要出願資格認定】
 - ①短大、高専、専修学校等の卒業生で、保健医療分野での実践経験を3年以上有す者

●博士前期課程(専門コース(専門看護師(CNS)分野))

- (1) 4年制大学の看護学部(科)課程を卒業し、かつ、保健医療分野での実践経験を5年以上有す者
 - (2) 本大学院において上記(1)と同等以上の学力があると認めた者【要出願資格認定】
- 但し、看護師国家資格取得者で、保健医療分野での実践経験5年以上を有す者

※出願資格の詳細につきましては、別紙1(11ページ)をご確認ください。

●博士後期課程(論文コース)

- (1) 保健医療学領域(看護学科、理学療法学科、作業療法学科等)の大学院博士前期課程(修士課程)を修了している者、および修了見込みの者
 - (2) 上記(1)以外の大学院博士前期課程(修士課程)を修了している者および修了見込みの者
- 但し、専攻する保健医療領域における特別研究を医療施設等で患者を対象に実施する場合は当該の国家資格を必要とする。

※出願資格の詳細につきましては、別紙2(12ページ)をご確認ください。

【社会人特別選抜の出願資格】

医療・教育・研究機関、企業等に常勤として勤務している者、または入学時に勤務予定の者

【一般選抜の出願資格】

医療・教育・研究機関、企業等に常勤として勤務していない者、または入学時に退職予定の者

【出願資格認定】

博士前期課程(各コース)の**出願資格において、【要出願資格認定】の記載のある項目に該当**し出願する者は、次の手続きを行ってください。

出願資格の認定が必要であるため事前に次の書類を学事部長津田校舎事務課まで提出してください。

書類受付期間 **【秋季】** 2026年6月22日(月)～7月8日(水) 17時
 【春季】 2026年9月28日(月)～10月7日(水) 17時

提出方法 学事部長津田校舎事務課に郵送(上記期間内に必着)

- 必要書類
- ①入学試験出願資格認定申請書 (本学ホームページからダウンロード) ※
 - ②課題レポート 3項目 (本学ホームページからダウンロード) ※
 - ③国家資格免許証の写し 保健医療分野の免許証の写し(A4 サイズにする)
 - ④卒業証明書 出身学校長が発行したもの

レポート課題：各コースとも以下の課題より3項目を選んで体験や今後の展望をふまえて作成のこと。
(各800字以内・自署)

論文コース 専門コース (遺伝カウンセリング分野・医学物理教育分野・ アスレティックトレーニング分野)	専門コース (専門看護師 (CNS) 分野)
<ul style="list-style-type: none"> ①患者あるいはスタッフ等の意思決定を支えた体験 ②保健医療学分野の実践における計画、実施、評価にわたる体験 ③患者あるいはスタッフ等への指導・教育体験 ④他の部署、他の施設等の保健医療分野の医療職と連携して行った各種活動 ⑤自分が専門とする分野での研究活動、研修活動、業務・技術改善活動 	<ul style="list-style-type: none"> ①患者あるいはスタッフ等の意思決定を支えた体験 ②看護実践の計画、実施、評価にわたる体験 ③患者あるいはスタッフ等への指導・教育体験 ④他の部署、他の施設等の保健医療分野の医療職と連携して行った各種活動 ⑤自分が専門とする分野での研究活動、研修活動、業務・技術改善活動

結果発表 【秋季】2026年7月16日(木)15時 大学ホームページ※
【春季】2026年10月15日(木)15時 大学ホームページ※

※ 昭和医科大学ホームページのトップページから「教育」を選択し、「大学院保健医療学研究科」>「入試情報」をご覧ください。
合格者には出願資格認定証を郵送します。電話での問い合わせには対応しません。

4 出願手続

(1) 出願の事前相談・面談 出願する分野・領域の指導教員に研究内容について確認し、必ず出願前に事前相談/事前面談を行ってください。

事前相談/事前面談 期間

【秋季】 2026年7月6日(月)～8月5日(水)

【春季】 2026年9月18日(金)～10月21日(水)

※博士後期課程の事前面談時には、必ず修士論文の控えを持参すること。

※本学の教員の連絡先を把握していない方についてはご案内しますので、
下記にメールをお送りください。

学事部長津田校舎事務課：nrkyoumu@ofc.showa-u.ac.jp

(2) 入学検定料振込 ※書類提出前に振込を完了してください

入学検定料： 20,000円

振込先： 三菱UFJ銀行 長原支店 (普)0009229

(口座名義) 学校法人昭和医科大学 理事長 オグチカツジ 小口勝司

振込名： 「ホーニュウシー受験者名」 ※受験者名の前に「ホーニュウシー」を入力

(3) 出願方法

出願期間： 【秋季】 2026年7月21日(火)～8月12日(水)17時

【春季】 2026年10月5日(月)～10月28日(水)17時

○出願時の注意

上記期間内に必着。必ず簡易書留郵便とし、「保健医療学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

出願書類の受付は原則郵送とし、窓口での受付は致しません。

◎出願書類郵送先

〒226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865

昭和医科大学学事部長津田校舎事務課 大学院入学試験係 電話：045-985-6503

(4) 必要書類

①入学願書	本学所定のもの（写真1枚貼付） ※本学ホームページからダウンロード
②履歴書	本学所定のもの ※本学ホームページからダウンロード
③受験票	本学所定のもの（写真2枚貼付）※①③同じ写真 ※本学ホームページからダウンロード
④志望理由書	本学所定のもの ※本学ホームページからダウンロード
⑤卒業(見込)証明書または 修了(見込)証明書	出身大学長が発行したもの ※本学出身者および出願資格認定で提出した者は不要
⑥免許証の写し	保健医療分野の免許証をA4に複写 ※出願資格認定で提出した者および保有していない者は不要
⑦受験許可及び履修許可書	本学所定のもの(社会人特別選抜に出願する者のみ) ※本学ホームページからダウンロード
⑧出願資格認定書の写し	出願資格認定を行った者のみ
⑨入学検定料 振込控え	必ず「保健医療学研究科入学検定料・受験者名」を明記 ※ネットバンキングの場合はスクリーンショットを印刷
⑩受験票返信用封筒	410円切手を貼付し、宛先を明記した封筒(長型3号)を同封

(5) 外国語(英語)試験免除について(博士後期課程のみ対象)

以下のいずれかの資格を有する者は、入学試験の外国語(英語)試験を免除します。該当者は、出願時にスコア(級)の証明書(コピー不可)を提出してください。

資格 TOEIC：800点以上、TOEFL-iBT：100点以上、

IELTS：アカデミックモジュール7.0点以上、実用英語技能検定：1級

※TOEIC-IPテスト(団体受験)は認める。オンライン受験は認めない。

※出願手続終了後の書類の訂正、変更、検定料の払い戻し、提出書類の返却などには一切応じません。

5 試験

(1) 科目

- ①学力試験(英語および小論文)
- ②面接試験

(2) 試験日程・場所

【秋季】2026年8月22日(土) 集合時間 9時 集合場所 昭和医科大学横浜キャンパス ※

【春季】2026年11月7日(土) 集合時間 9時 集合場所 昭和医科大学横浜キャンパス

入学課程		試験科目	試験時間
博士前期課程	論文コース	英 語	9時30分～11時00分
		小論文	11時20分～12時20分
		面 接	12時40分～
	専門コース	英 語	9時30分～11時00分
		小論文	11時20分～12時20分
		面 接	12時40分～
博士後期課程	論文コース	英 語	9時30分～11時00分
		専門科目(一般選抜対象)	11時20分～12時20分

※博士前期課程(専門コース)について、秋季入学試験の実施はありません。

(3) 合否判定の方法及び基準

英語試験は合格最低点を定め、小論文もしくは専門科目試験・面接の結果と合わせて総合的に判断します。

(4) 注意事項

- 受験の際は受験票を携帯してください。
- 受験日までに受験票が未着等の場合は、試験当日事務課にて、仮受験票の交付を受けてください。
- 英語試験開始後20分以上遅刻した場合は原則受験を許可しません。
- (電子)辞書持込可。但し、通信機能のあるもの(スマートフォン等)は不可。

6 合格者発表

【秋季】2026年9月3日(木)15時

【春季】2026年11月27日(金)15時

昭和医科大学ホームページに掲載します。

7 入学手続

- 合格者には、合格証および入学手続書類を郵送(特定記録郵便)します。
- 合格証および入学手続書類が9月8日(火)または、12月2日(水)までに届かない場合は連絡してください。

(1) 手続期間

【秋季】2026年9月4日(金)～9月18日(金)17時

【春季】2026年11月28日(土)～12月11日(金)17時

入学時学費を全納のうえ、上記の手続期間内に必着するように簡易書留郵便にて郵送ください。
期日までに手続きが完了しない者は、入学の意思がないものとみなします。

(2) 手続書類

- ①誓約書 ②在学保証書 ③学生調査票 ④学費振込控え（コピー可）
- ⑤写真1枚 縦4.5cm×横3.5cm

(3) 入学辞退

入学を辞退する場合は、下記の期日までに学事部長津田校舎事務課へ連絡してください。期日までに入学辞退を申し出た場合には、入学金を除く入学時学費を返金いたします。

【秋季】2026年9月25日(金)17時まで

【春季】2027年3月26日(金)17時まで

※上記の日時以降に入学辞退を申し出た場合は、入学金を含む入学時学費は一切返金いたしません。

※入学辞退を決めた場合は、早急にお申し出ください。

8 学費

(単位：円)

	入学金	施設費	授業料		実習費		合計 (年間)	うち入学時
			前期	後期	前期	後期		
1年次学費	100,000	100,000	200,000	200,000	50,000	50,000	700,000	450,000
2年次以降学費	—	—	200,000	200,000	50,000	50,000	500,000	—

※半期毎(4月、9月)に授業料、実習費の半期分(授業料20万円、実習費5万円)の学費を請求します。

※原則として、所定の期日までに休学の承認を受けた休学者については、授業料および実習費を徴収せず、休学在籍料として半期毎に6万円請求します。

※原則として、入学と同時に休学する場合は、納付された入学時学費の返金は一切行いません。

※学費の請求方法については変更になる場合があります。

※修了延期者の学費は博士前期課程では1年、博士後期課程では2年を限度として免除します。

9 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

(2) 学校法人昭和医科大学奨学金

(3) 昭和医科大学大学院奨学金

- 保健医療学研究科に在籍する外国籍の学生のうち、他の奨学金給付を受けておらず、日本に生活基盤を有しないものは、学費相当額を給付します。

※詳細は学事部学生課にお問い合わせください。 TEL 03-3784-8024

10 修了要件・学位授与

2年次終了(後期課程の場合は3年次終了)までに所定の単位を修得し、学位を取得した者を修了とします。

学位は、学内で論文発表後に学位論文を提出し、その審査、最終試験に合格した者に授与されます。

なお、所定の単位を修得できなかった者、学位を取得できなかった者は修了延期となります。

社会人特別選抜、一般選抜ともに次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 4年制大学を卒業した者および卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校*¹において、修業年限が3年以上である課程を修了すること*²により、学士の学位に相当する学位を授与された者および授与される見込みの者
 - *1 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
 - *2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者および修了見込みの者で、「高度専門士」の称号を付与された者および付与される見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達した者

社会人特別選抜、一般選抜ともに次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者および有する見込みの者
- (2) 専門職学位を有する者および有する見込みの者
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および授与される見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校*¹において、修業年限が3年以上である課程を修了すること*²により、学士の学位に相当する学位を授与された者および授与される見込みの者
 - *1 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
 - *2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者および修了見込みの者で、「高度専門士」の称号を付与された者および付与される見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 日本国内の4年制大学又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに24歳に達した者

別紙3 受験上の合理的配慮の主な対応例

区分	合理的配慮の主な対応例
①視覚障がい	別室受験、拡大鏡（ルーペ）の使用、拡大文字問題冊子の配布
②聴覚障がい	別室受験、説明者に近いの座席への配慮、補聴器または人工内耳の装用、耳栓・イヤーマフの使用、注意事項の文書による伝達など
③肢体不自由	座席の指定、車いす・松葉杖の使用など
④病弱	別室受験、座席の指定、座布団の使用など
⑤発達障がい	別室受験、試験中の投棄の許可、出入口付近の座席指定、試験室入口までの付添者の同伴
⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> < I 型糖尿病 > ・別室受験 ・試験中の血糖測定器、インスリンポンプの装着許可、インスリン注射器、インスリンペンの試験中の使用および補食の許可(補食物の机上常備も含む) < 気管支喘息 > ・試験中の喘息吸入器の持込み、使用 < 過敏性腸症候群・過活動膀胱 > ・出入口付近の座席指定 < 多汗症 > ・試験中の手袋の着用、ハンカチの使用許可 < 吃音症 > ・面接試験時、面接官は寛容な姿勢で対応